

施策(小)評価シート

1 基本情報

年度	21	施策名(小)	市民参加システムの充実	担当部課名
政策名	計画推進のために			市民環境部まちづくり推進室
施策名(大)	市民参加とパートナーシップのまちづくり			
施策名(中)	市民参加のまちづくり			
目的	まちづくりのための学習や提案の場を提供するとともに、地域リーダーの活動を支援するため、情報と場の提供につとめ、さらに、市民主体のまちづくり活動に対して、積極的な支援につとめる。			

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標
		19年度	20年度	21年度	22年度
まちづくり交流室の利用回数	回	77	67	109	120
まちづくり活動支援事業申請グループ数	件	5	3	3	4

3 施策に対する投入資源

投入資源	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
	事業費	千円	862	2,911	861
人件費	千円	7,716	5,335	5,113	5,250
合計	千円	8,578	8,246	5,974	6,447

4 施策評価

	評価判定	判定理由及び課題等
①目標の達成状況	◎ ◎ 概ね順調に推移している ○ 一定程度進展している △ 少しは進展している ▲ 進展していない	市民協働を掲げている中、まちづくり活動の手助けをする施策として有効に働いている。
②社会情勢の反映・有効性	◎ ◎ 有効に対応できている ○ 情報把握に努めている △ あまり対応できていない ▲ 有効に対応できていない	まちづくり、人づくりの中でスタートの補助、個人では対応できない所を、行政がサポートする体制ができており有効である。
③構成事務事業の妥当性	◎ ◎ 効率的な構成である ○ 改善が必要な事業がある(1事業) △ 改善が必要な事業がある(複数) ▲ 構成自体に問題がある	まちづくり活動の支援を、どこまで行うのか、いつまで行うのか等の課題が常に残る。
④業務方法の効率性	○ ◎ 効率的に進めている ○ 改善等の余地が一部ある △ 改善等の余地が大きい ▲ 抜本的な改善等が必要である	活動内容によっては、まちづくり推進室では対応しきれない場合も多くなってきているが、他部署の協力も得られている。
⑤施策の総合評価	A A 継続 B 改善 C 再構築 D 見直し・縮減	活動拠点の支援、アドバイスは必要である。

5 施策の推進に向けた今後の対応

既存事務事業及び新規事業の方向性	まちづくりに参加する人やグループの育成支援をいかに行うか。
------------------	-------------------------------

6 構成事務事業

NO	事務事業名 事業開始年度	指標名 (単位)			投入資源(千円)		妥当性
					事業費	人件費	
		20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	20年度	20年度	
					21年度	21年度	
			22年度	22年度			
1	市民活動サポート事業 平成15年度	まちづくり交流室の利用件数 回			2,525	3,242	5
					523	3,138	
		67	109	120	577	3,238	
2	まちづくり活動支援事業 平成17年度	まちづくり活動支援事業申請 団体			386	2,093	4
		グループ数			338	1,975	
		3	3	4	620	2,012	
3					0	0	
					0	0	
					0	0	
4					0	0	
					0	0	
					0	0	
5					0	0	
					0	0	
					0	0	
6					0	0	
					0	0	
					0	0	
7					0	0	
					0	0	
					0	0	
8					0	0	
					0	0	
					0	0	
9					0	0	
					0	0	
					0	0	
10					0	0	
					0	0	
					0	0	
11					0	0	
					0	0	
					0	0	
12					0	0	
					0	0	
					0	0	

第三者評価委員会意見

市の目指すべき方向性を明確にしたうえで、市民の提案を受けるといった形に変えて進めていただきたい。
 市が活性化を目指すということは、経済効果を生みだすことが望ましいと考えるので、それに沿った提案のみを対象とするなど、メリハリのある補助を行うことにより、相生市らしい個性ある資源の掘り起こしを期待する。